

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 18 日 (2007.10.18)

【公開番号】特開 2002-65656 (P2002-65656A)

【公開日】平成 14 年 3 月 5 日 (2002.3.5)

【出願番号】特願 2000-265168 (P2000-265168)

【国際特許分類】

**A 6 1 B 6/03 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

X 線を放射する X 線管と、この X 線管から放射され被検体を透過した透過 X 線量分布を検出すると共にこの検出信号を増幅する X 線検出部と、前記 X 線管と X 線検出部とを対向させて被検体の周りに回転させるスキャナ回転部と、前記 X 線検出部からの出力信号を処理して診断部位の断層像を再構成する画像処理装置と、この画像処理装置からの出力信号を入力して断層像を表示する画像表示装置とを有する X 線 CT 装置であって、前記スキャナ回転部の固定枠の周上に配置された第一の巻線と前記スキャナ回転部の回転枠の周上に前記第一の巻線に対向して配置された第二の巻線とを組み合わせ成り、前記第一の巻線が交流電源に接続され、前記第二の巻線が前記スキャナ回転部に搭載された回路に接続される電磁誘導送電手段を備え、前記交流電源の周波数が商用電源の周波数と略同じであることを特徴とする X 線 CT 装置。

【請求項 2】

前記電磁誘導送電手段は、前記第一の巻線を前記固定枠の周上に配置されたリング状の第一の鉄心に巻き付け、前記第二の巻線を前記回転枠の周上に配置されたリング状の第二の鉄心に巻き付けて成り、前記第一の巻線で発生する磁束が前記第一の鉄心と前記第二の鉄心を介して前記第二の巻線に鎖交するようにしたことを特徴とする請求項 1 に記載の X 線 CT 装置。

【請求項 3】

前記電磁誘導送電手段は、前記第二の巻線を複数備えることを特徴とする請求項 2 に記載の X 線 CT 装置。

【請求項 4】

前記 X 線管に印加される電圧を制御し前記複数の第二の巻線のうちの一つの巻線と接続される管電圧制御手段と、前記複数の第二の巻線のうちの残りの巻線と接続される前記管電圧制御手段以外の回路をさらに備えることを特徴とする請求項 3 に記載の X 線 CT 装置。

【請求項 5】

前記複数の第二の巻線のうちの残りの巻線と前記管電圧制御手段以外の回路の間に絶縁変圧器をさらに備えることを特徴とする請求項 4 に記載の X 線 CT 装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 0 】

(1) X線を放射するX線管と、このX線管から放射され被検体を透過した透過X線量分布を検出すると共にこの検出信号を増幅するX線検出部と、前記X線管とX線検出部とを対向させて被検体の周りに回転させるスキャナ回転部と、前記X線検出部からの出力信号を処理して診断部位の断層像を再構成する画像処理装置と、この画像処理装置からの出力信号を入力して断層像を表示する画像表示装置とを有するX線CT装置であって、前記スキャナ回転部の固定枠の周上に配置された第一の巻線と前記スキャナ回転部の回転枠の周上に前記第一の巻線に対向して配置された第二の巻線とを組み合わせることで、前記第一の巻線が交流電源に接続され、前記第二の巻線が前記スキャナ回転部に搭載された回路に接続される電磁誘導送電手段を備え、前記交流電源の周波数が商用電源の周波数と略同じである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 1 】

(2) 前記電磁誘導送電手段は、前記第一の巻線を前記固定枠の周上に配置されたリング状の第一の鉄心に巻き付け、前記第二の巻線を前記回転枠の周上に配置されたリング状の第二の鉄心に巻き付けて成り、前記第一の巻線で発生する磁束が前記第一の鉄心と前記第二の鉄心を介して前記第二の巻線に鎖交するように構成する。

(3) 前記電磁誘導送電手段は、前記第二の巻線を複数備える。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 2 】

(4) 前記X線管に印加される電圧を制御し前記複数の第二の巻線のうちの一つの巻線と接続される管電圧制御手段と、前記複数の第二の巻線のうちの残りの巻線と接続される前記管電圧制御手段以外の回路をさらに備える。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 2 3 】

(5) 前記複数の第二の巻線のうちの残りの巻線と前記管電圧制御手段以外の回路の間に絶縁変圧器をさらに備える。